

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|------|---------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援 ぶどうの木 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 12月 1日 | | ～ 令和8年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12世帯 | (回答者数) 7世帯 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 1日 | | ～ 令和8年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6人 | (回答者数) 6人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 施設内に感覚遊具・アスレチック、トランポリンなど、体を大きく使って遊ぶ設備が整っている 子どもたちは、安心感をもって楽しく運動遊びに取り組んでいる。 | 幼児期に必要な体作りの活動をメインに行っている。 安心して活動する為に、スケジュールボードを設置して、視覚的にわかりやすい提示をしている。 | 見通しをもって活動できるように、ひとりひとりに合わせたスケジュールの提示をしたり、切り替えがスムーズにできるように、タイマーを使うなどの配慮もして、安心の環境作りに務めている。 |
| 2 | また、月に1回、作業療法士と言語聴覚士が来所。専門的な視点をもって子どもの支援をしている。 | 発達についての保護者からの相談を、継続的に見てもらい保護者、療育するスタッフにアドバイスもらって、日々の活動に生かしている。 | スタッフへの支援として、できる時には研修の時間も設けている。 |
| 3 | 母子同時通園が原則なので、保護者からの相談や申し入れについて、迅速に対応できる体制がある。 事業所側からの情報提供や、意思の疎通も共通理解が得られやすい。 | 療育の最後に、保護者だけで集まって振り返りをしている。その中で保護者同士の交流や、情報の交換をするなど有意義な時間を過ごしている。 | 保護者対象の研修会や、茶話会などを定期的に開催している。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---------------------------------|
| 1 | 保育園・幼稚園との交流や、地域との子どもたちとの交流がない。 | 交流する機会を作りにくい。 | 今後、保護者の希望や近隣の保育所・幼稚園とも連絡を取っていく。 |
| 2 | 非常災害や防災についての取り組みの周知 | 避難訓練や、感染症対策など、その都度起こったときに対応しているが、事前にあらためてお知らせすることがない。 | お便りや掲示物、ホームページでお知らせしていく |
| 3 | | | |